

面接時に本人が与えたい印象と他者が受ける印象の主観評価と視線分布の分析

日置翔太 井上路子 西山正志 (鳥取大学)

目的



- 調査①** 志願者が微動作を通して面接官に与えたい印象と面接官が志願者の微動作から感じる印象との関係性を明らかにする
- 調査②** 面接官が志願者の微動作から良い印象や悪い印象を感じる際にどのような微動作や身体部位に注目しているのかを明らかにする

微動作とは？

面接時に話を聞く際に志願者がふるまう動作



- 調査①の関連研究**
微動作によって面接官が感じる印象が変化 [McGovern+, Journal of Vocational Behavior, 1978]
課題 [Bonaccio+, Journal of Management, 2016]
志願者が与えたい印象と面接官が感じる印象の関係性は調査されていない
- 調査②の関連研究**
なし
課題
志願者が行った微動作から面接官が印象を受ける際の視線はそもそも調査されていない

調査①に関する仮説

- 志願者が**良い印象**を与えようとする微動作から面接官は**良い印象**を感じる
- 志願者が**悪い印象**を与えようとする微動作から面接官は**悪い印象**を感じる

調査②に関する仮説

- 面接官が**良い印象**を感じるときと**悪い印象**を感じるときで面接官の**視線分布**が変化

実験条件

微動作に関する刺激動画

被写体22名 (男12名, 女10名, 年齢22.4±2.7)

- 面接官からの説明を聞く志願者を想定
- 動画1本あたり約30秒

1名あたり**良い印象**と**悪い印象**を4回ずつ撮影
良い印象 S_g : 88本 **悪い印象** S_b : 88本



面接官が志願者の印象評価を行う / 視線を計測する

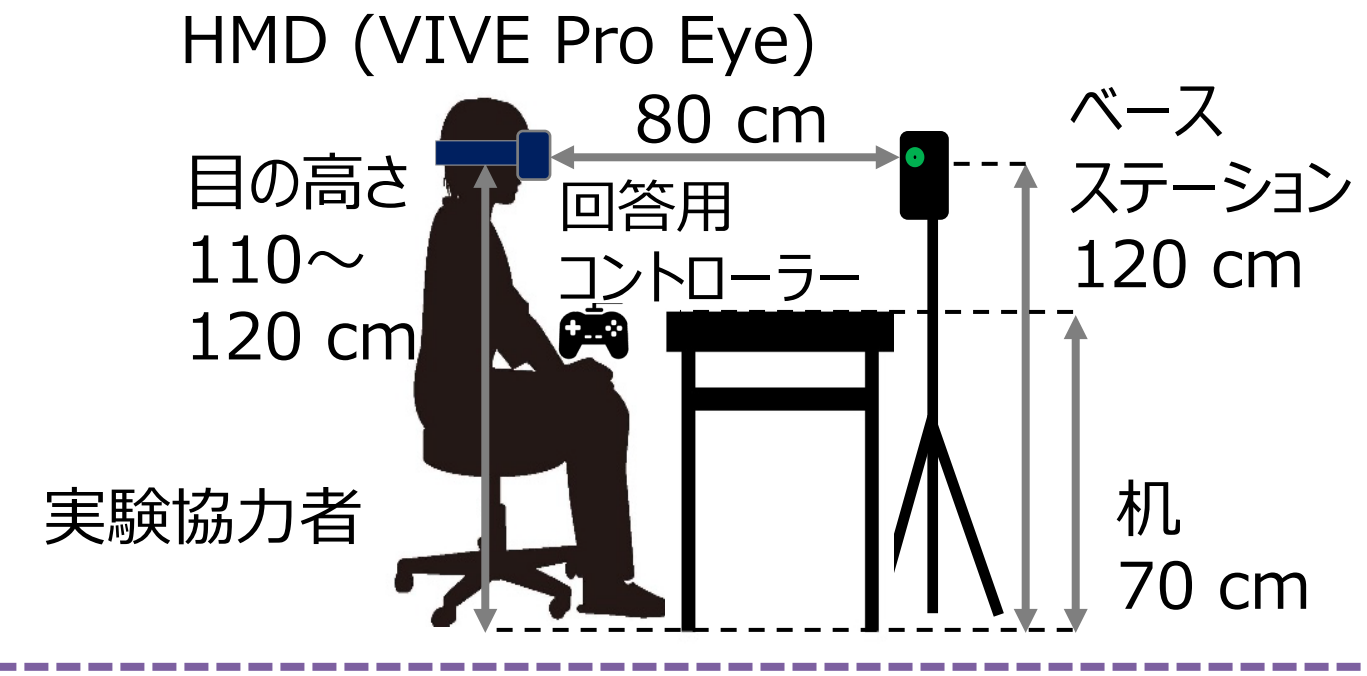
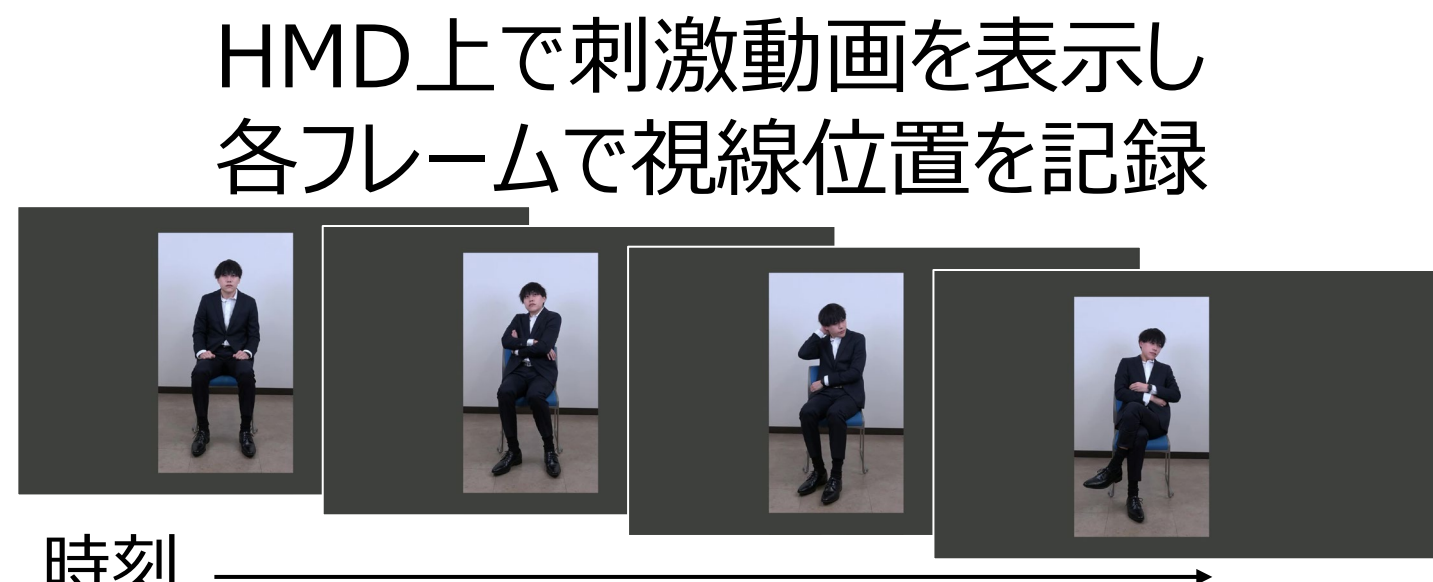
実験協力者

8名 (男8名, 年齢22.0±1.2) 志願者の印象評価をする面接官を想定

手順

* 実験協力者1名あたり36回繰り返す
 基準画像を表示 (2秒) → 刺激動画 S_g or S_b をランダムに重複なしで表示し印象評価と視線計測 (約30秒) → 設問 Q_1 と Q_2 に回答

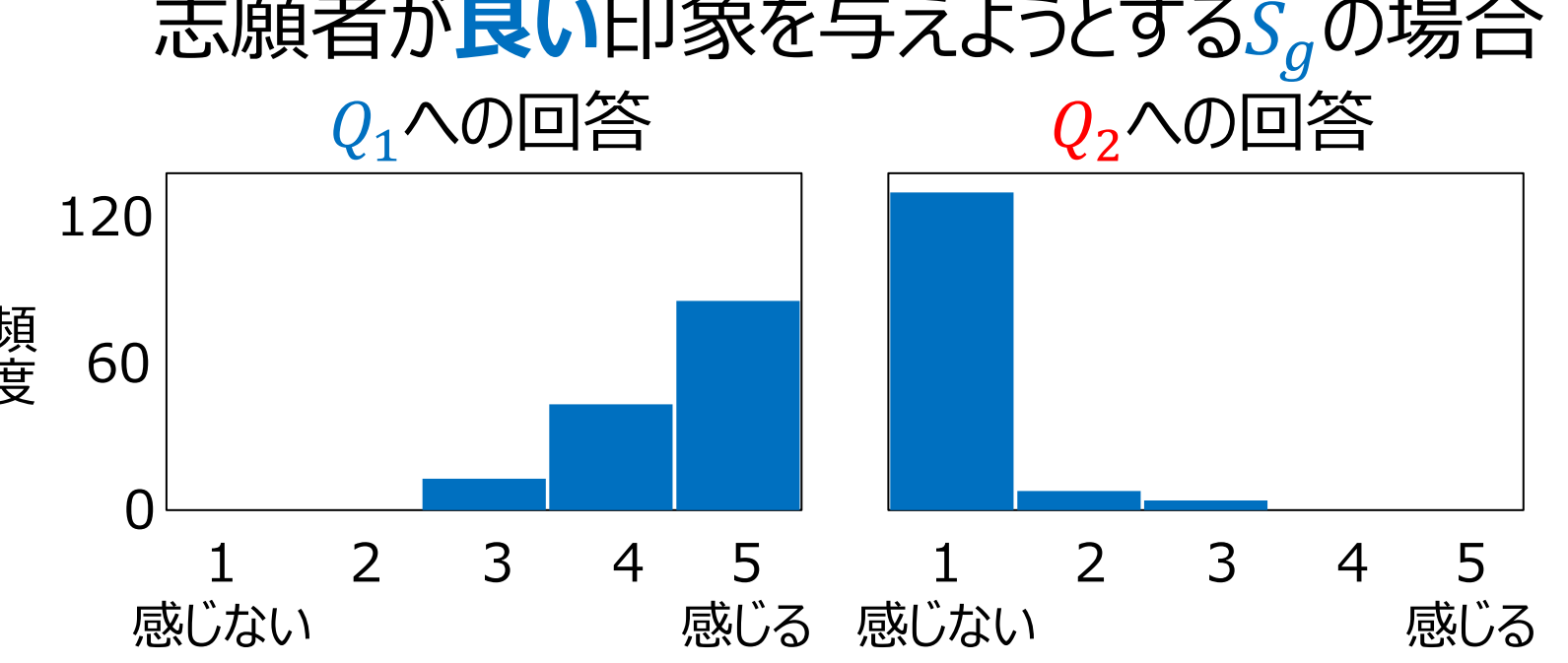
実験に使用する動画
 S_g : 男女各3名の S_g から3本ずつ抽出
 S_b : 男女各3名の S_b から3本ずつ抽出



志願者の印象を評価してください
 Q_1 : 動画中の志願者の印象は**良い**と感じますか
 Q_2 : 動画中の志願者の印象は**悪い**と感じますか
 回答方法 5段階評価 1(感じない) ~ 5(感じる)

結果① 面接官が志願者の微動作から感じる印象

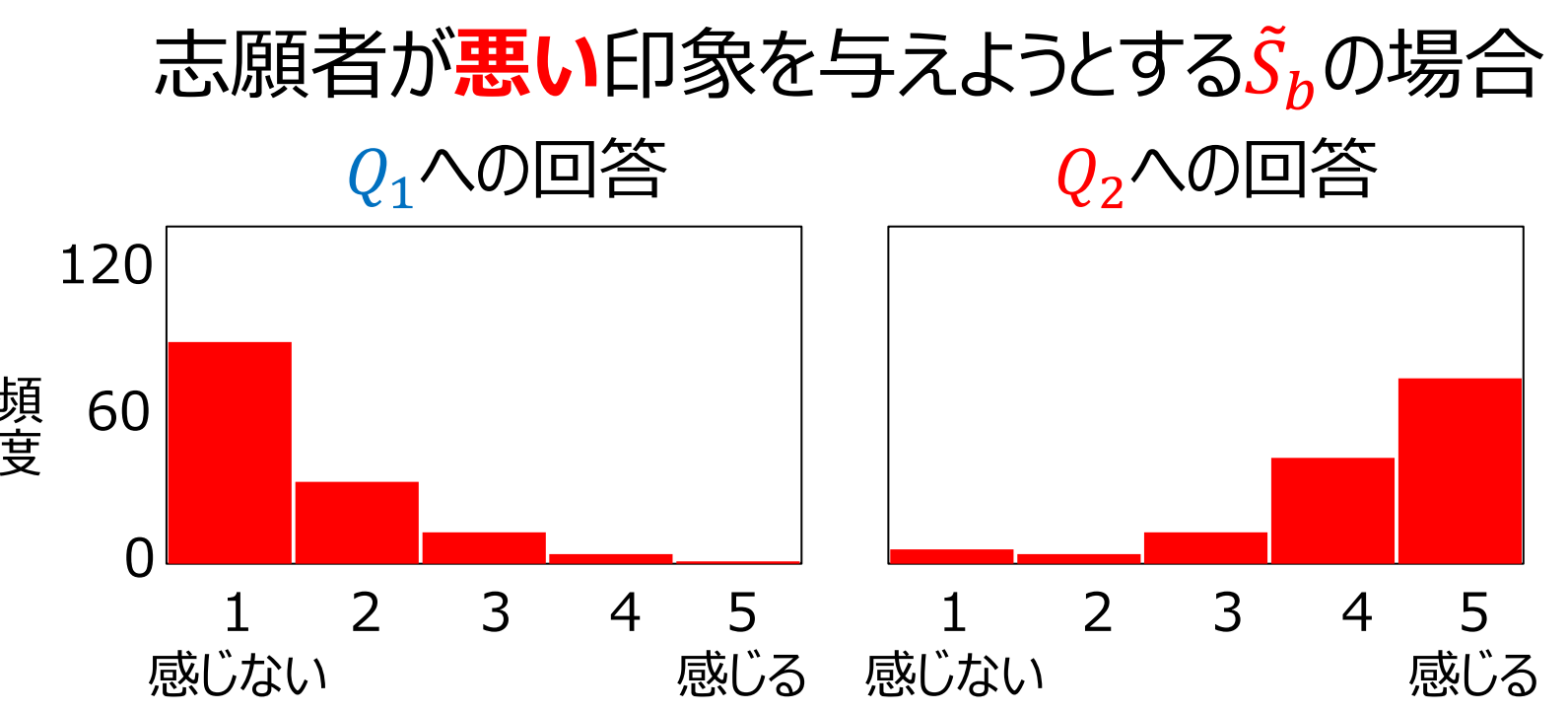
印象の関係性を調査するため設問 Q_1 と Q_2 への回答を集計



良い印象を与えようとする微動作に対して

- | 設問 | 良い印象を感じる | 悪い印象を感じる | どちらともいえない |
|------------|----------|----------|-----------|
| Q_1 への回答 | 91.0% | 9.0% | 0% |
| Q_2 への回答 | 97.2% | 2.8% | 0% |

- 微動作**
- 適度なタイミングで頷く
 - 真剣な表情を作る
 - 硬い表情を作る
 - たまに頷く



悪い印象を与えようとする微動作に対して

- | 設問 | 良い印象を感じる | 悪い印象を感じる | どちらともいえない |
|------------|----------|----------|-----------|
| Q_1 への回答 | 3.5% | 87.5% | 9.0% |
| Q_2 への回答 | 6.9% | 84.1% | 9.0% |

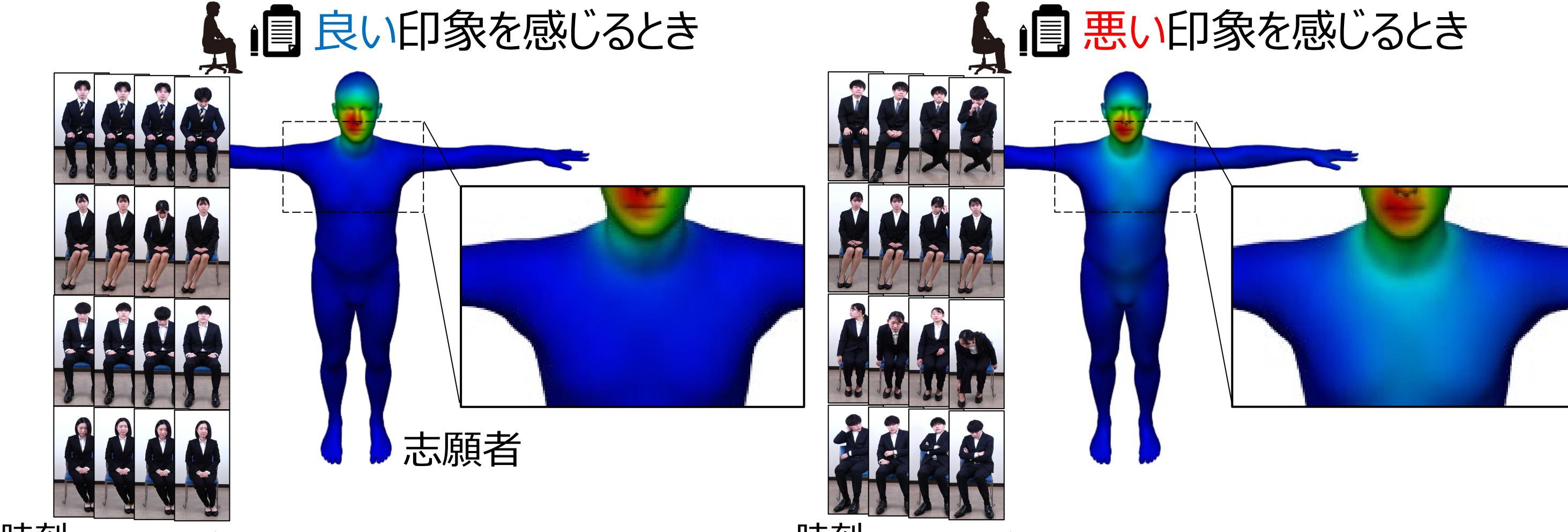
- 微動作**
- 体の一部を触る
 - 手や脚を組む
 - 面接官を見る
 - ときどき頷く

結果② 面接官が志願者から印象を感じる時の視線

面接官が**良い印象**を感じる時と**悪い印象**を感じる時の視線分布を調査

刺激動画の各時刻の視線を可視化

全時刻を通して視線を統合し可視化



- 面接官の視線はある時刻において**頭部**に集まる傾向がある
- 面接官の視線はある時刻において**微動作**を行っている身体部位に集まる傾向がある
- 面接官の視線は全時刻において**頭部**に集まる傾向がある
- 面接官の視線は全時刻において**頭部**に集まる傾向があるが**首周辺**にも視線が散らばる